

2010年春 釧路町昆布森沿岸におけるサケ幼稚魚生息環境速報(第4報)

水産総合研究センターさけますセンター帯広事業所

2010年6月29日、北海道釧路町昆布森沿岸において、水温、プランクトン湿重量及びサケ稚魚の出現状況を調査しましたので概要をお知らせします。



観測場所：釧路町昆布森地先
 緯度：42°56'N
 経度：144°34'E
 水深：20m

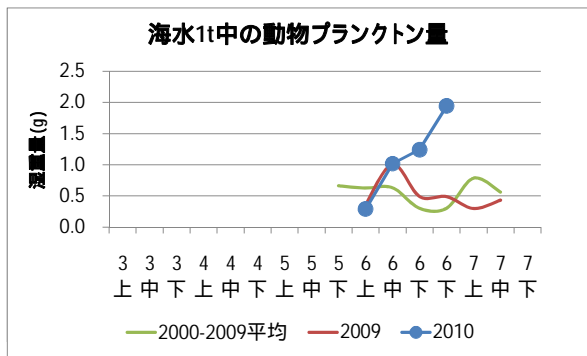
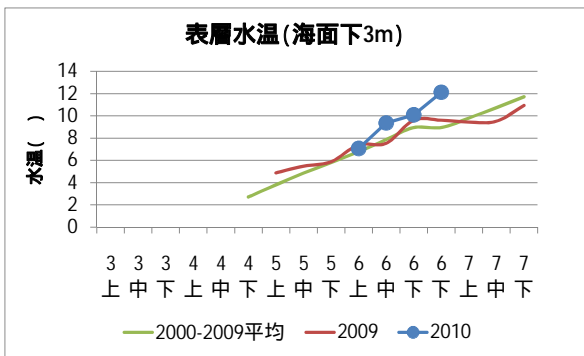
今期の特徴

海面下3mの海水温は、12.1 で、前回(6月23日)調査より約2 上昇しました。海水温の上昇速度は速くなっています。
 海水1t中のプランクトンは1944mgで、前回調査より0.7g多くなりました。前回調査と同様に、採捕1(離岸距離0.4km)を除く全ての定点で、珪藻が混入しました。
 稚魚採捕尾数は118尾(引き網1回当たりのサケ稚魚採捕数)でした。前回調査と同様に、全ての定点でサケ稚魚が採捕され、沖-1(離岸距離3.5km)と沖-2(離岸距離7.8km)の定点では1,000尾程度のサケ稚魚が採捕されました。
 漁業者の話では、トキシラズの漁獲尾数は再び増加したとのこととです

2010年6月29日の調査結果

表層水温は	12.12
・前年に比べ	高い
・過去10カ年平均に比べ	高い

プランクトン湿重量は	1944.21 mg
・前年に比べ	非常に多い
・過去10カ年平均に比べ	非常に多い



サケ稚魚採捕数は	118 尾
・前年に比べ	少ない
・過去10カ年平均に比べ	少ない

6月下旬は調査を2回(6/23および6/29)実施しています。

